

- スマートシティや不動産、防災・減災やインフラ管理、ロボティクスや自動運転など、多様な分野のDXを支える地理空間情報の活用が広がる中、急速に進展するAIの技術と融合(地理空間情報×AI)することで、我が国経済・社会における地理的・空間的問題の解決が一層図られるとの期待が寄せられている。
- これを踏まえ、「ジオAI研究会」では、ジオAI(地理空間情報×AI)に関する産学官の取組を戦略的に加速するため、その実現に向けた「課題・論点」や「取組の方向性」について議論を行う。

## 委員等

- 【委員】 ◎:座長 (五十音順、敬称略)
- 井上 陽介 G空間情報センターセンター長/PwCコンサルティング合同会社ディレクター
  - 大橋 弘 東京大学大学院経済学研究科教授
  - 川島 邦之 一般社団法人LBMA Japan代表理事
  - 河端 瑞貴 慶應義塾大学経済学部教授
  - 清田 陽司 麗澤大学工学部教授/人工知能学会理事
  - 越塚 登 東京大学大学院情報学環教授
  - 坂下 哲也 一般財団法人日本情報経済社会推進協会常務理事
  - ◎ 柴崎 亮介 麗澤大学副学長/東京大学大学院情報学環・学際情報学府特任教授
  - 島崎 康信 株式会社パスコ研究開発センター未来創造グループグループ長
  - 高瀬 啓司 ESRIジャパン株式会社ソリューション開発グループ課長
  - 布施 孝志 東京大学大学院工学系研究科教授

## 【オブザーバー】

- 公益財団法人 日本測量調査技術協会
- 一般社団法人 地理情報システム学会

## 【関係省庁】

内閣官房、内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省

## 【事務局】

内閣官房地理空間情報活用推進室(G空間室)、国土交通省、国土地理院

## 主な検討事項

- ① ジオAIをめぐる最近の動向
- ② ジオAIの概念整理、目指す姿
- ③ ジオAIの推進・実現に向けた「論点・課題」の整理
- ④ 産官学による「取組の方向性」(協調領域、競争領域)
- ⑤ 推進にあたって配慮・考慮すべき事項

## 当面のスケジュール

令和8年2月:研究会設置  
~以降、月1回程度開催~  
令和8年5月頃:中間整理(予定)

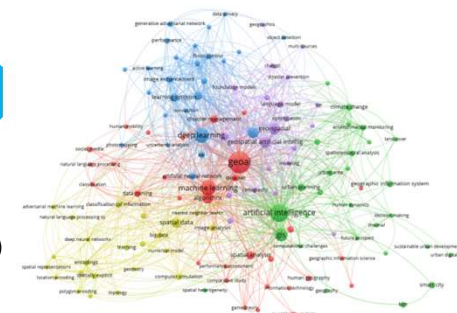


図1 GeoAIの学術領域ランドスケープ (VOSViewer 使用、著作作成)

## 地理空間を含んだマルチモーダルAIの到来

